

東日本大震災後の訪日観光意識（アジア 8 地域対象）

－7割が日本旅行を控えようとは思っておらず、6割が被災地ツーリズムにも関心あり－

2012 年 12 月 5 日 （株）日本政策投資銀行 地域企画部
東北支店

<調査の概要>

- ・ 訪日リピーターほど日本への旅行の意向は強まる。東北への訪問希望も訪日リピーターほど増加。
- ・ 日本への旅行の不安としては、回答者全体（計 4 千人）の 4 割が「地震が起こるか心配」・「放射能による健康被害が心配」と回答。「日本の安全イメージが低下した」との回答も少なくない。地震と原発事故で傷ついた日本の安全イメージの回復のため、より一層の正確かつ継続的な情報の発信が必要である。
- ・ 日本への旅行について、「控えようとは思わない」及び「震災直後は控えたが、今はそう思わない」が全体の 7 割を占め、反対に「日本旅行を控えている」及び「日本旅行はしたいと思わない」は 3 割にとどまった。現在では震災を原因として訪日を躊躇している人は少なくなりつつあるといえる。ただし、訪日経験別でも回答の割合に差はない（訪日リピーターでも日本旅行を控えている人がいる）ことから、前項のとおり安全イメージの回復等のための取組みが重要である。
- ・ 被災地ツーリズム（自然災害の実態と被害の状況を学び、防災意識の向上を図る目的）については、全体の約 6 割が参加したいと回答。特に訪日経験があり、前回の訪日で東北を訪れた人では 7 割が関心を示した。被災地ツーリズムは外国人の関心も高く、外国人旅行者の受入れも考慮した取組みが必要である。

当行は、東・東南アジア 8 地域（北京、上海、台湾、香港、韓国、マレーシア、タイ、インドネシア）を対象として、インターネットによる訪日旅行者の観光意向調査を実施した。本編は、その中から特に東日本大震災の影響にかかる質問項目につき、東北支店にてまとめたものである。

当行東北支店では、レポート「東北観光の現状と外国人観光客誘致のあり方」（2012 年 11 月）にて、東北における外国人観光客の誘致戦略を考える際のポイントとして、当面は訪日リピーターをターゲットと考えること、震災を受けた東北ならではの情報発信の重要性や外国人に対する被災地ツーリズムの有望性等にも触れたところである。同レポートとともに、本編のデータについても東北地域における外国人観光客誘致戦略策定の一助となれば幸いである。

<目次>

- ・ 調査要領 …… 2
- ・ はじめに 震災関連以外の質問項目の回答状況 …… 3
- ・ 東日本大震災に関する問と回答状況
 - ・ 問 1. 日本旅行ををするとして、不安な材料はありますか。 … 5－6
 - ・ 問 2. 2011 年に日本で起きた震災に関連する事柄(地震、津波、原発事故など)を見聞きし、あなたはどう思いましたか。 … 6－7
 - ・ 問 3. 日本で起きた震災に関連して、あなたの日本旅行に対する考えは変化しましたか。 … 8
 - ・ 問 4. 日本旅行で、震災後の被災地視察コースが整備され、自然災害の実態と被害の状況を学ぶ、又はボランティアをするといった行程のツアーが企画された場合、あなたは参加したいと思いますか。 … 8－9

調査要領

① 実施時期：2012年10月18日～2012年10月30日

② 調査方法：インターネットリサーチ（外部委託） 有効回答先着各500※を採用。

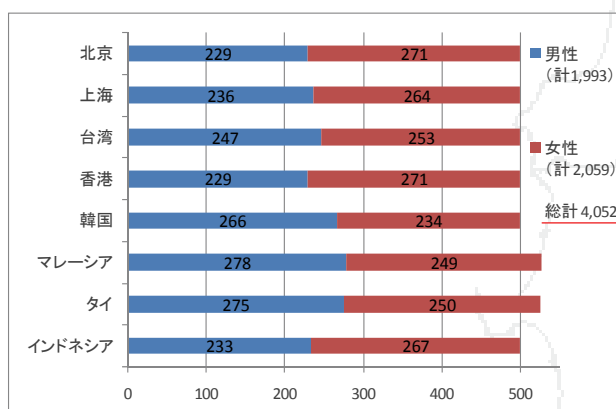
※ ただし、訪日経験2回以上の回答数が少なかったタイ、マレーシア2国についてのみ追加配信を実施した。
このためこの2国のみ回答数が若干多くなっている。

③ 対象地域：北京、上海、台湾、香港、韓国、マレーシア、タイ、インドネシア

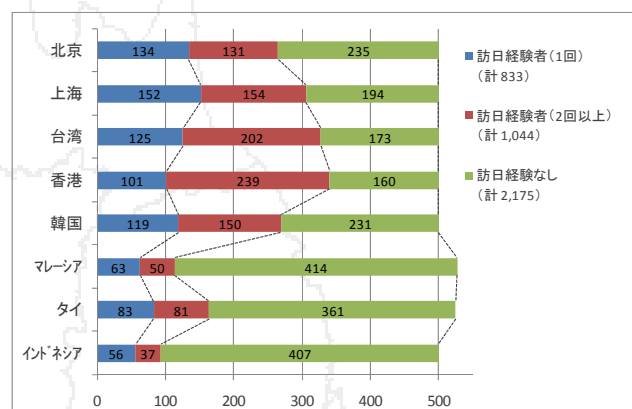
④ 対象者：20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者

⑤ 調査対象回答数（地域別・属性別）

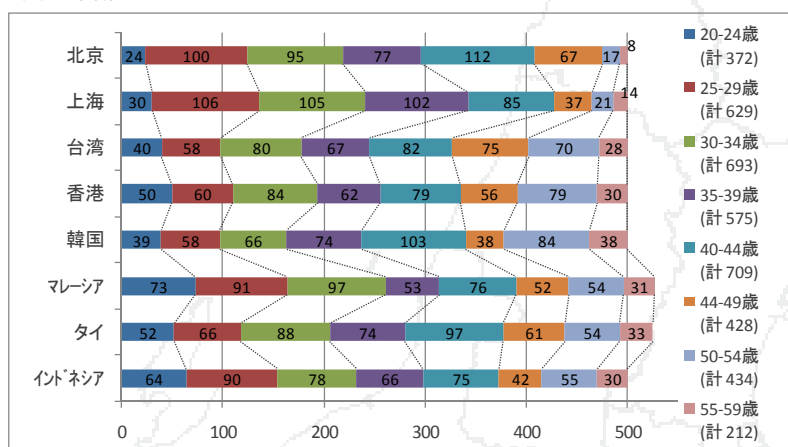
(a) 男女別



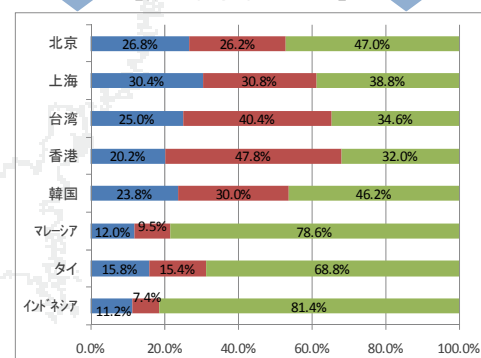
(b) 訪日経験別



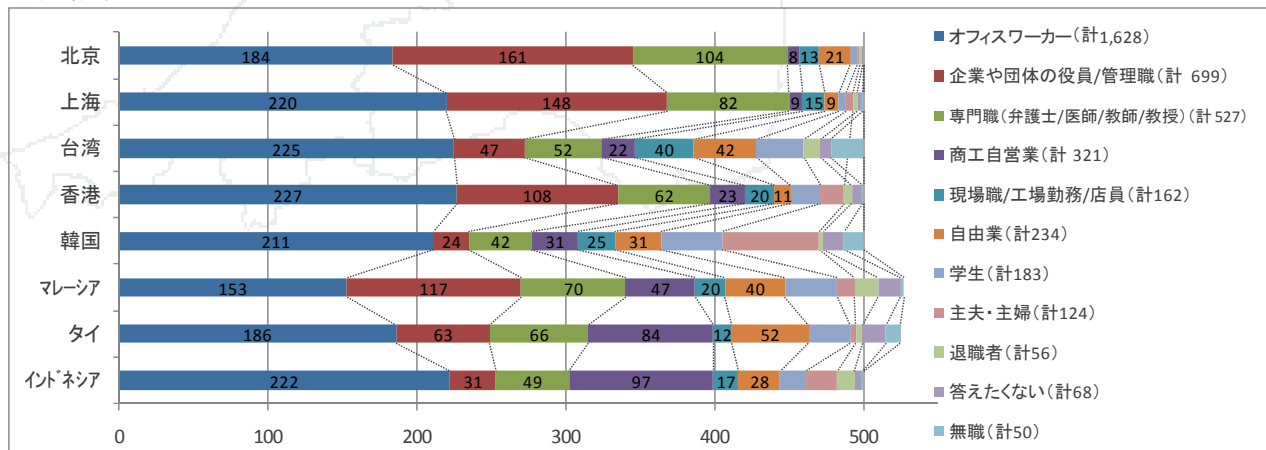
(c) 年齢別



【訪日経験者の比率】



(d) 職業別



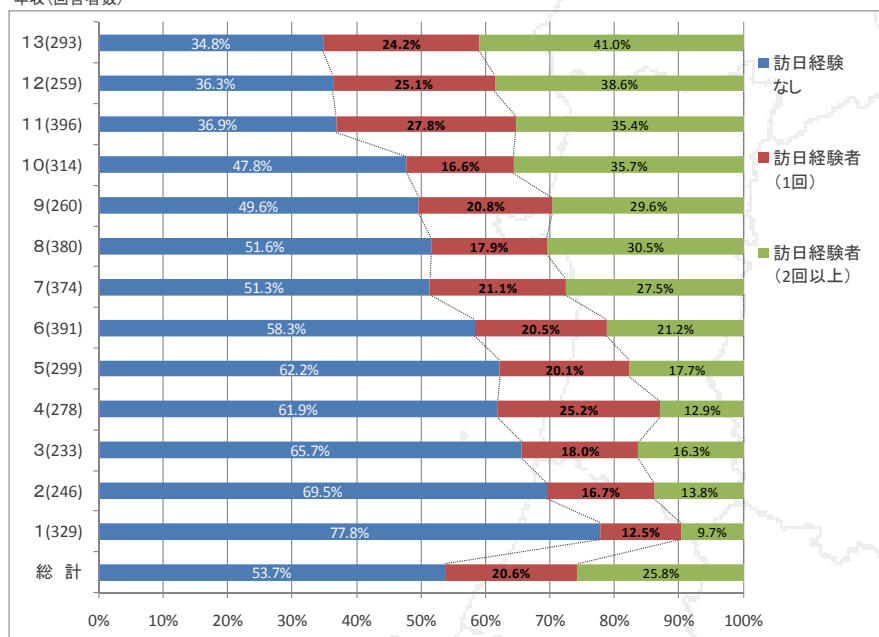
・はじめに

＜震災関連以外の質問項目の回答状況＞

はじめに、当調査の回答傾向をみるご参考として、震災関連以外の質問の一部についての回答状況を掲載いたします。当調査の質問項目は多数あり、全体の回答状況については、当行発表資料「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査～「日本旅行の人気はトップクラス」、「リピーターが日本各地を選んで訪れる時代へ」～」（2012年12月5日）をご覧ください。

① 年収別の訪日経験比率の集計 ⇒ 高年収者ほど訪日経験が多い傾向（リピーターには富裕層が多い）

年収（回答者数）



※ 回答者は各地域とも年収を全13段階にて回答。

左グラフは各地域の年収ランクを最低1 ⇒ 最高13として、各地域と同ランク同士を合計して作成。

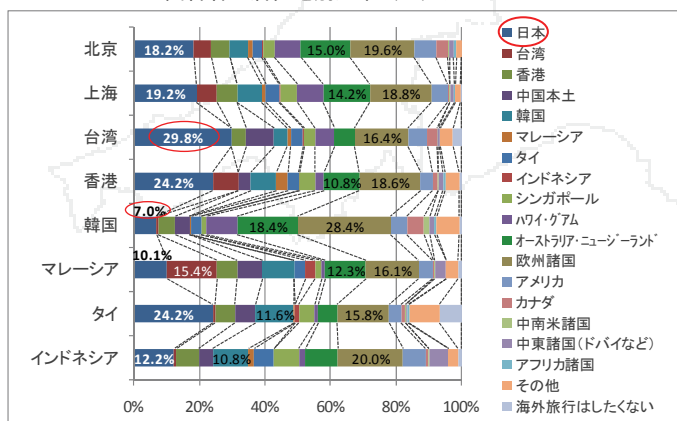
※ 例として中国の場合では、

- ① 20,000 元未満
- ② 20,000 - 39,999 元
- ③ 40,000 - 59,999 元
- ④ 60,000 - 79,999 元
- ⑤ 80,000 - 99,999 元
- ⑥ 100,000 - 119,999 元
- ⑦ 120,000 - 139,999 元
- ⑧ 140,000 - 159,999 元
- ⑨ 160,000 - 179,999 元
- ⑩ 180,000 - 199,999 元
- ⑪ 200,000 - 249,999 元
- ⑫ 250,000 - 299,999 元
- ⑬ 300,000 元以上 の13段階から選択。

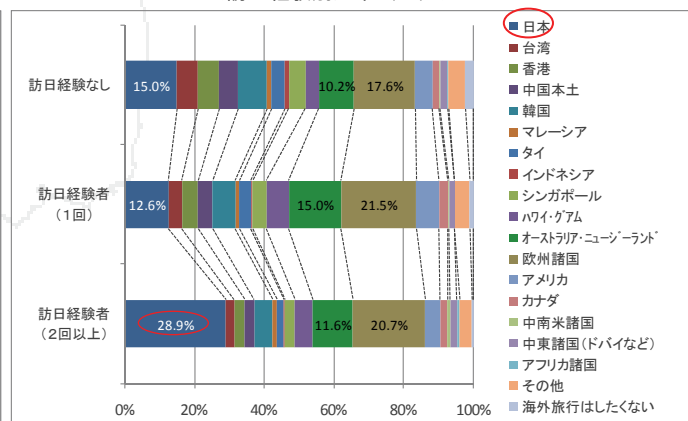
② 現在最も旅行したい国・地域（回答はひとつ）

⇒ 各地域総じて日本への旅行希望は高い。特に「台湾」居住者が高いが、「韓国」は低い結果に。また2回以上訪日経験があるリピーターほど高い結果となった。

＜回答者の居住地別比率（％）＞



＜訪日経験別比率（％）＞

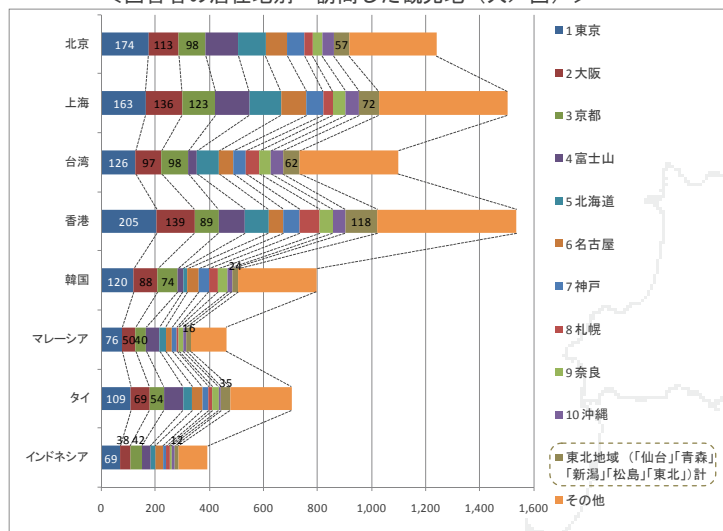


③ <訪日経験者のみ回答> 訪問した日本の観光地※（回答はあてはまるものすべて）

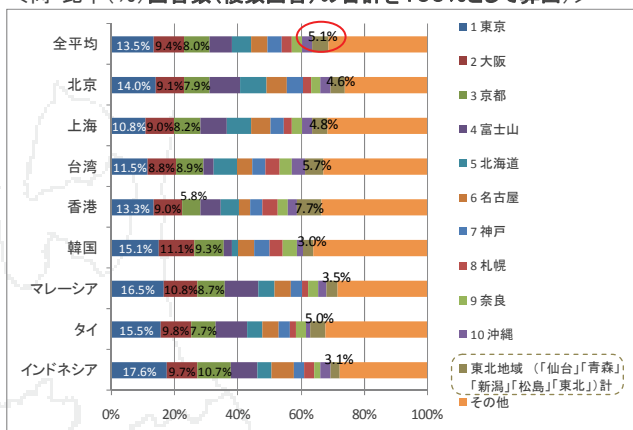
（複数回訪日経験ある人は、直近の訪日の際についての回答）

⇒ 東北地域の回答数は全体数の5%程度に過ぎないが、訪日リピーターは訪問率が大きく増加。

<回答者の居住地別・訪問した観光地（人／回）>



<同・比率(%) 回答数(複数回答)の合計を100%として算出>



<訪日経験別・訪問した観光地と訪問率>

訪問地域	東北 ^(注)	青森	仙台	松島	新潟	東京	富士山	北海道	京都
訪日経験(1回)	9	22	47	16	15	458	239	179	267
訪日経験(2回以上)	39	54	107	40	47	584	313	297	351
計	48	76	154	56	62	1042	552	476	618
訪問率(全体) * 1	2.6%	4.0%	8.2%	3.0%	3.3%	55.5%	29.4%	25.4%	32.9%
訪問率(訪日1回) * 2	1.1%	2.6%	5.6%	1.9%	1.8%	55.0%	28.7%	21.5%	32.1%
訪問率(訪日2回以上) * 3	3.7%	5.2%	10.2%	3.8%	4.5%	55.9%	30.0%	28.4%	33.6%
2回以上／1回(倍)	3.5	2.0	1.8	2.0	2.5	1.0	1.0	1.3	1.0

* 1 訪日経験者全体(1,877人)に対する比率 * 2 訪日経験1回(833人)に対する比率 * 3 訪日経験2回以上(1,044人)に対する比率

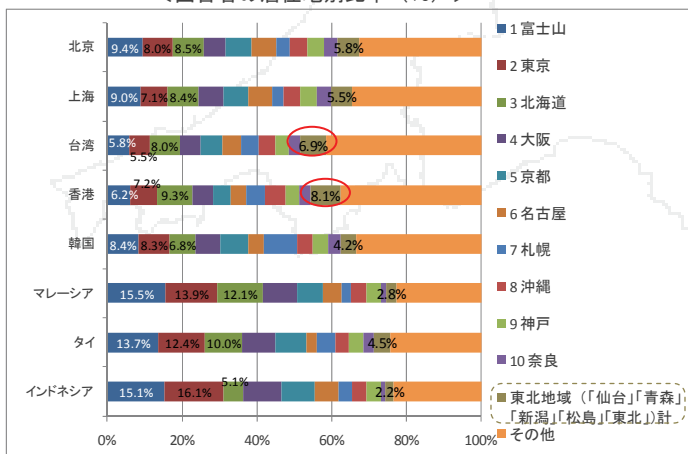
(注) 訪問した観光地として個別地名に加えて「東北」も選択肢として用意し、「あてはまるものすべて」の選択をお願いしたが、「東北」への回答数は「仙台」等より低くなった。当調査対象地域では「東北」という名称よりも「仙台」等個別地名のほうが知名度は高いとも考えられる。

④ 知っている日本の観光地の中で、実際に行ってみたい観光地※（回答はあてはまるものすべて）

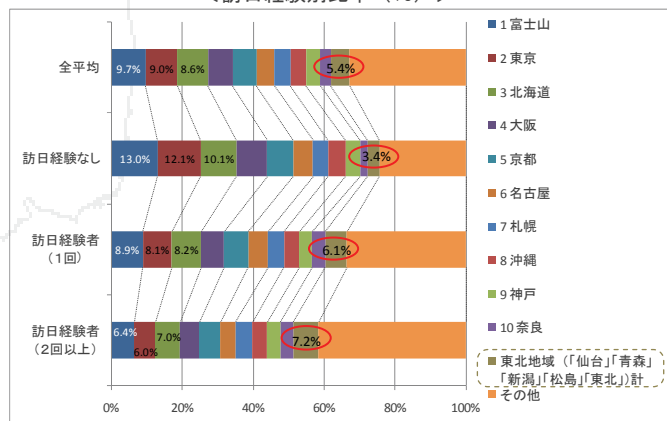
⇒ 東北への訪問希望は香港、台湾が比較的高い。また、訪日リピーターほど希望も増加。

回答数(複数回答)の合計を100%として算出

<回答者の居住地別比率(%)>



<訪日経験別比率(%)>



※ 本設問(③・④)の観光地の選択肢は計44地域あり、ここでは、総計の上位の10地域と東北地域の計(選択肢のうち東北地域内である5か所(仙台・青森・新潟・松島・東北)の合計値)を取り上げ、それ以外の地域の合計を「その他」とした。

copyright (C) 2012 Development Bank of Japan Inc.

<東日本大震災に関する問と回答状況>

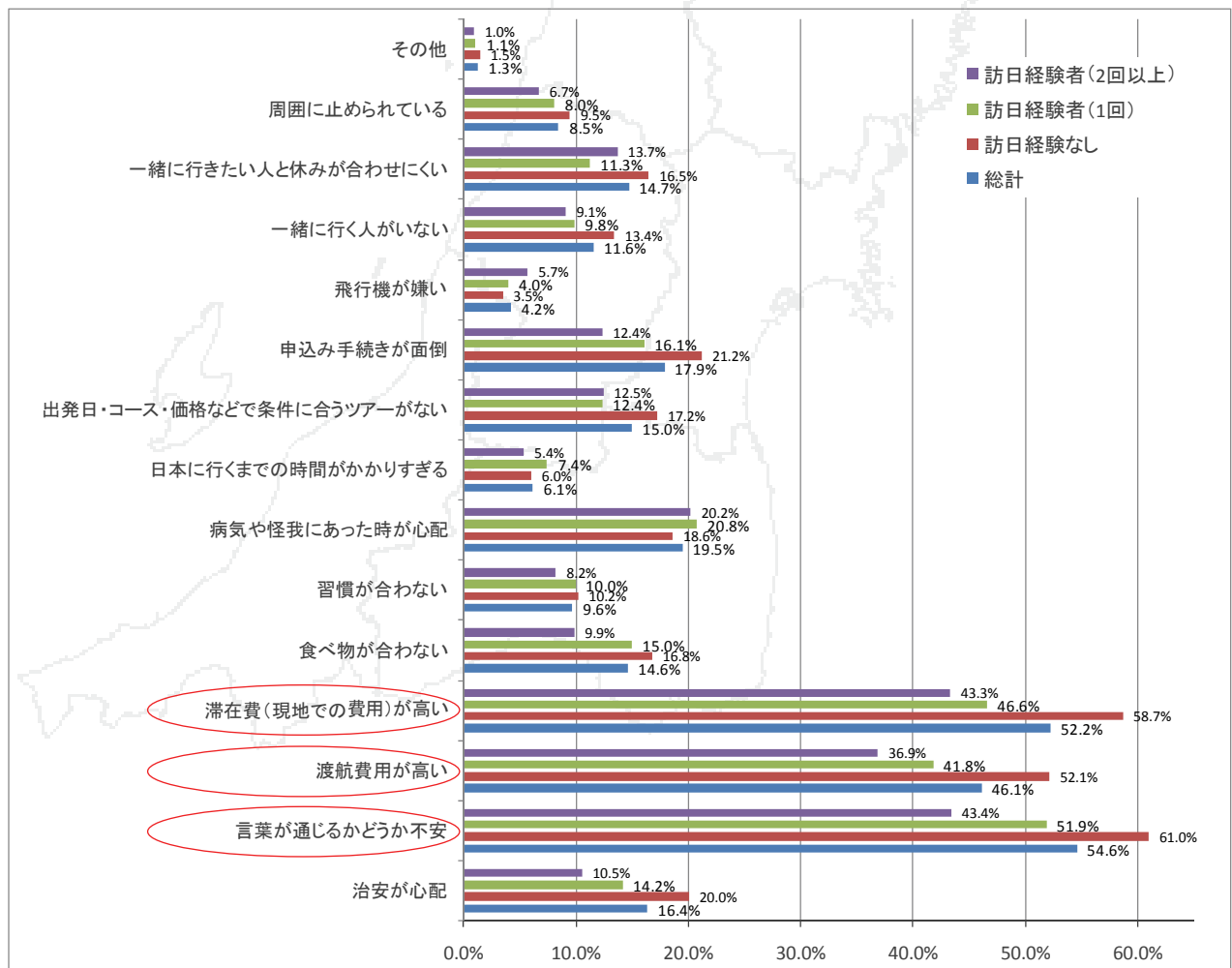
【設 問】

- 問1. 日本旅行をするとして、不安な材料はありますか。(回答はあてはまるものすべて)
- 問2. 2011年に日本で起きた震災に関連する事柄(地震、津波、原発事故など)を見聞きし、あなたはどう思いましたか。
(回答はあてはまるものすべて)
- 問3. 日本で起きた震災に関連して、あなたの日本旅行に対する考えは変化しましたか。最もあなたの意見に近いものをお選びください。
- 問4. 日本旅行で、震災後の被災地視察コースが整備され、自然災害の実態と被害の状況を学ぶ、又はボランティアをするといった行程のツアーが企画された場合、あなたは参加したいと思いますか。(このツアーは、被災地の自治体の了承を得ているものです。被災地は、津波被災地であり、原発災害の被災地ではありません。)

問1. 日本旅行をするとして、不安な材料はありますか。(回答はあてはまるものすべて)

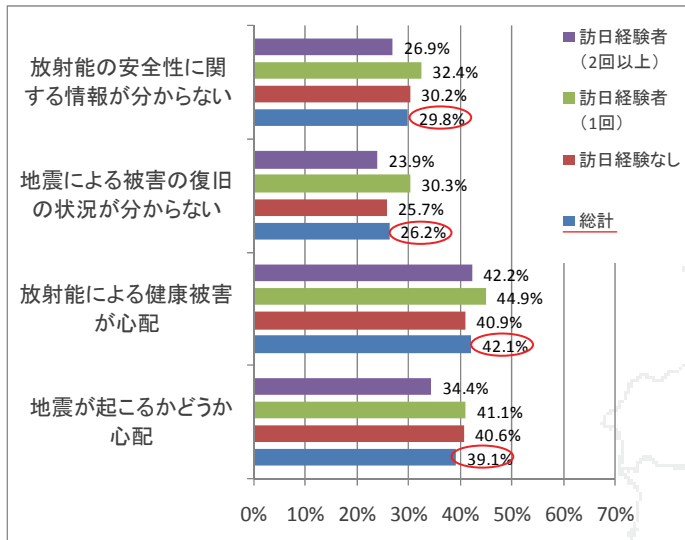
- 問の選択肢としては以下の①(震災以外)と②(震災関連)の項目を分けずに設定しているが、本編では特に②について地域別にみる等詳細に集計した。
- まず①震災関連以外の回答状況としては、費用面、言葉の問題が多かったが、いずれも訪日経験が増すほど不安は和らぐものとなっている。
- ②震災関連については、全体の4割が「地震が起こるか心配」「放射能による健康被害が心配」と回答した。その一方、「地震の復旧状況が分からない」「放射能の安全性に関する情報が分からない」については3割以下となっており、地震の復旧状況及び放射能の安全性の情報については、海外にも日本の状況が伝わりつつあるようだ。
- 地域別にみると特に「韓国」は地震や放射能に対してセンシティブな傾向がみられた。

① 震災関連以外の選択肢への訪日経験別回答状況 (回答の選択肢は①及び次項目②を同列で提示しています)

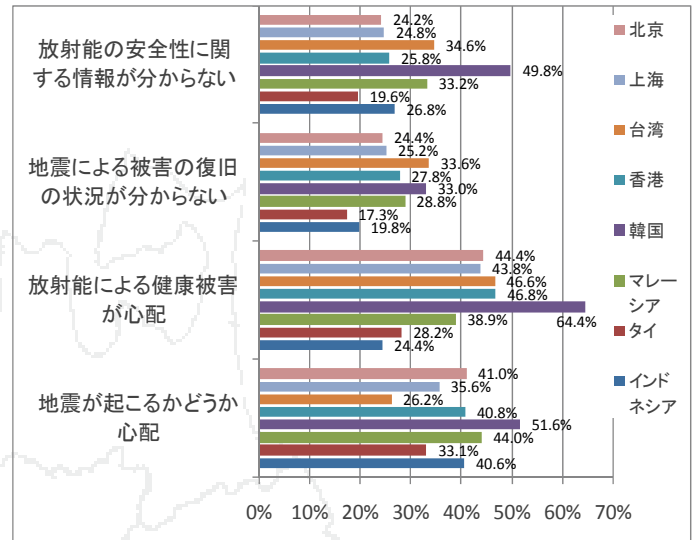


② 震災関連の選択肢への回答状況（回答の選択肢は前項目①及びこの②を同列で提示しています）

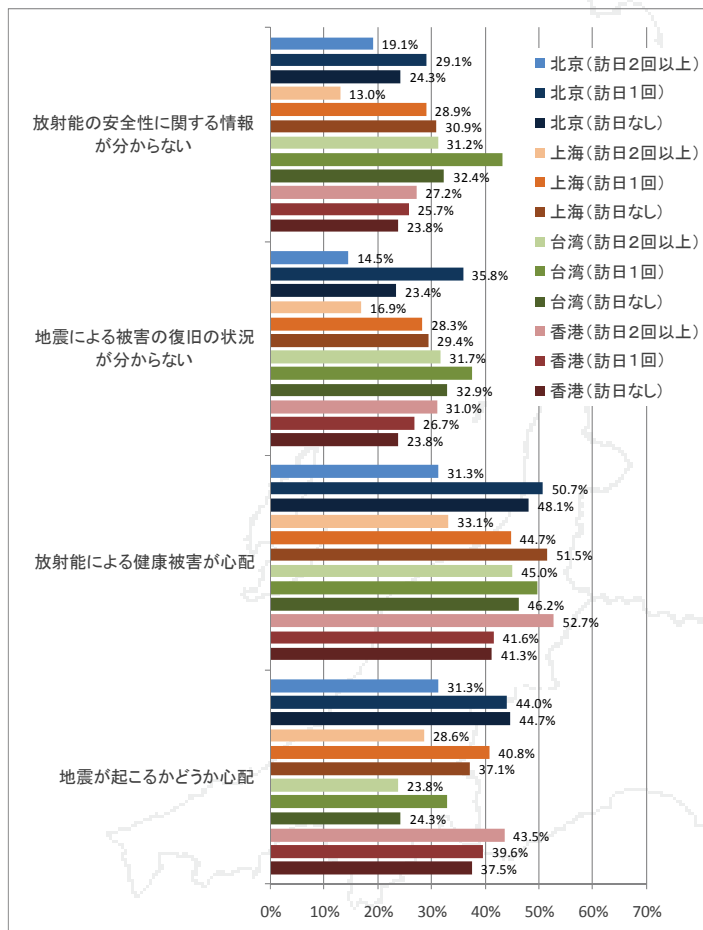
(a) 訪日経験別



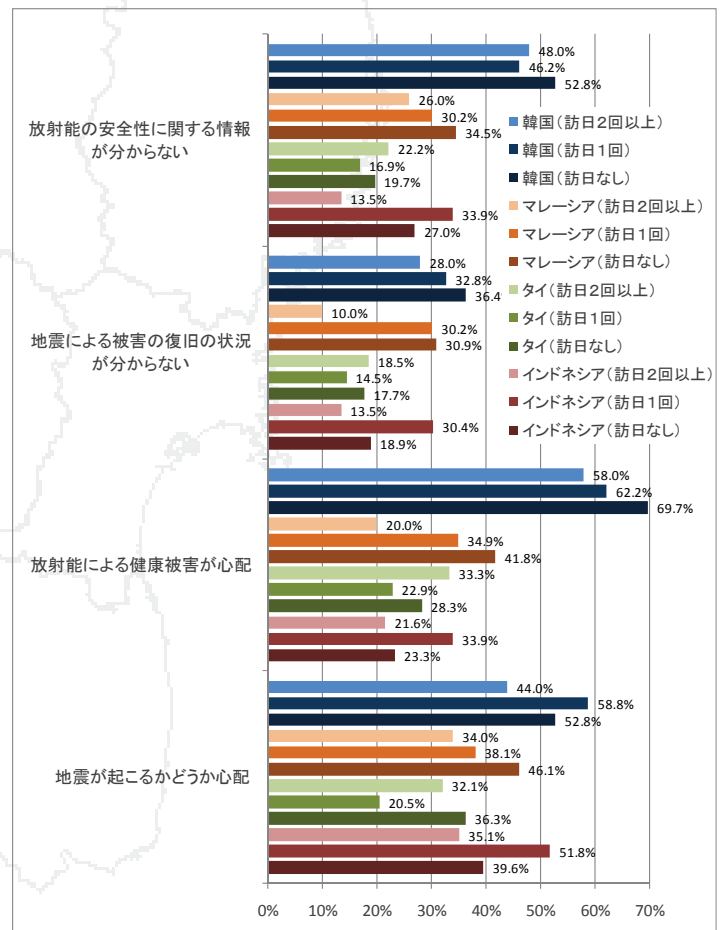
(b) 地域別



(c) 訪日経験・地域別（北京・上海・台湾・香港）

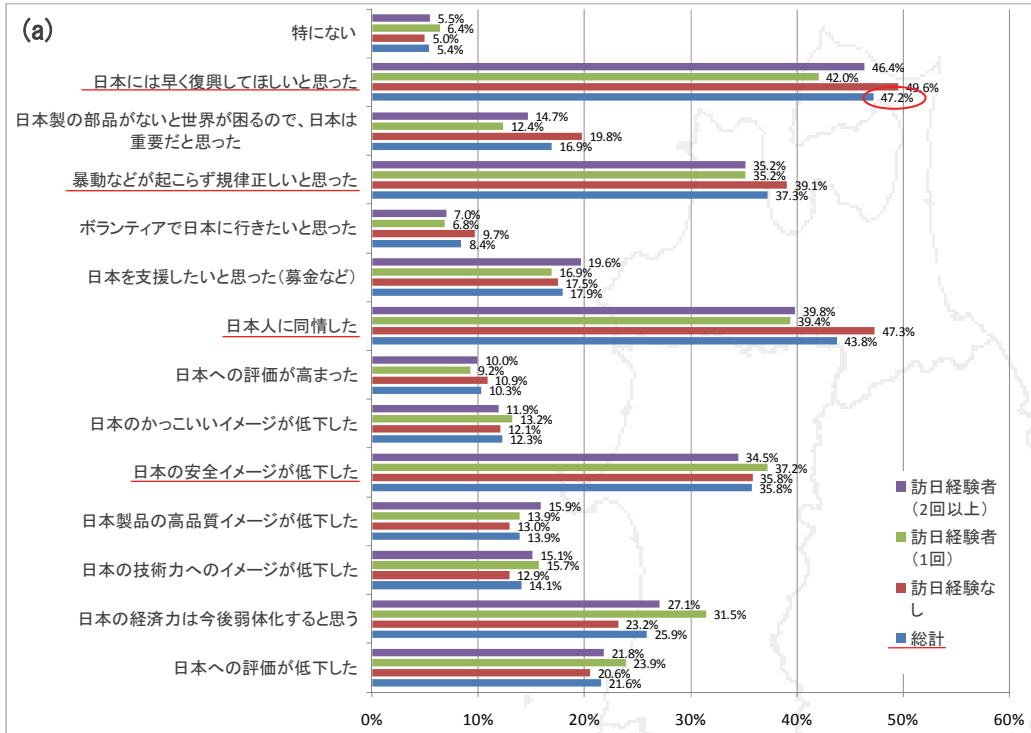


(d) 訪日経験・地域別（韓国・マレーシア・タイ・インドネシア）



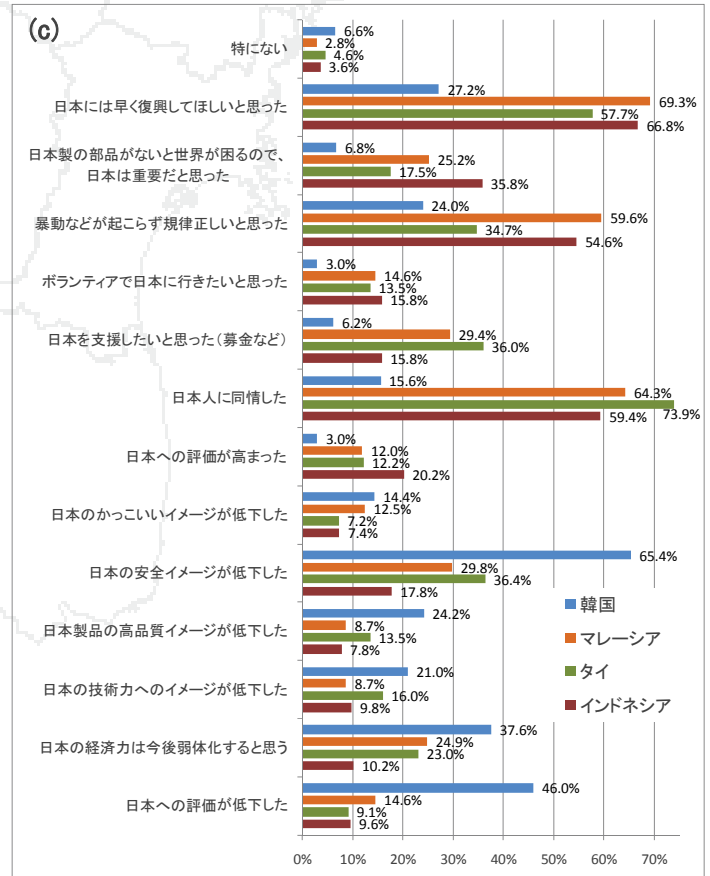
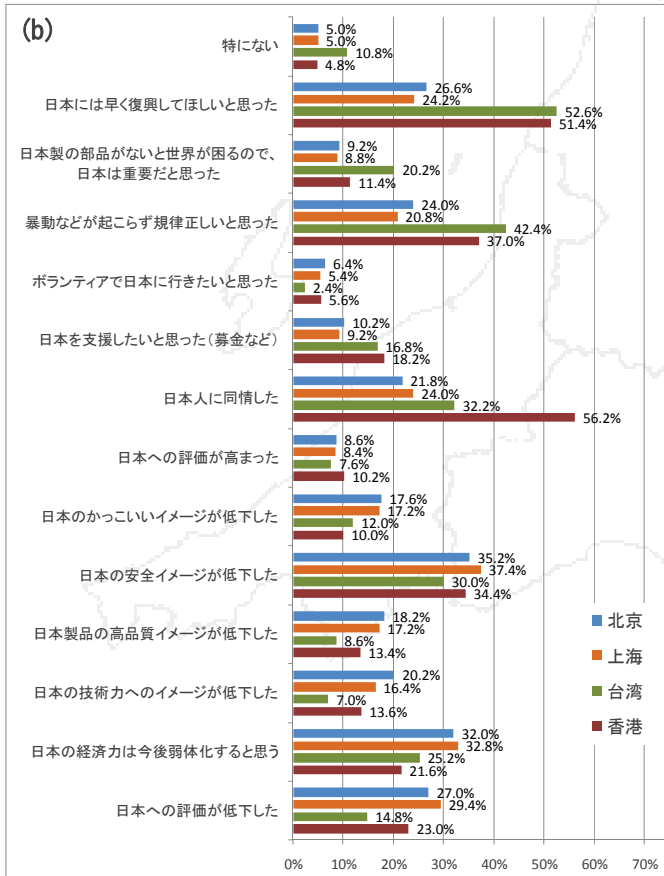
問2. 2011年に日本で起きた震災に関連する事柄(地震、津波、原発事故など)を見聞きし、あなたはどのように思いましたか。(回答はあてはまるものすべて)

- 「日本には早く復興してほしい」が全体の47%と最も多い回答を集めた。「日本に同情した」等含め、特にマレーシア、タイ、インドネシア、香港等で日本に好意的な回答が多かった。
- 一方、日本に対する安全性の低下のイメージ等、ネガティブな回答も韓国等から集まっている。問1では「地震の復旧状況が分からない」に対する回答は3割以下ではあったものの、地震と原発事故で傷ついた日本の安全イメージの回復のためには、より一層の正確かつ継続的な情報の発信が必要と考えられる。



(a) 訪日経験別

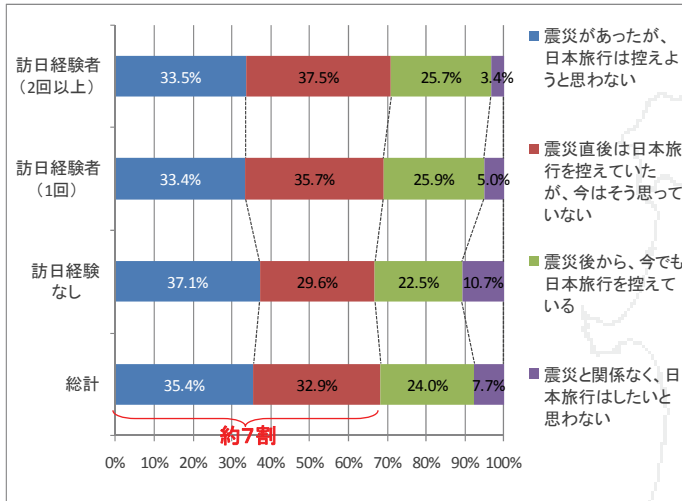
(b) 地域別
(北京・上海・台湾・香港)

(c) 地域別
(韓国・マレーシア・タイ・インドネシア)


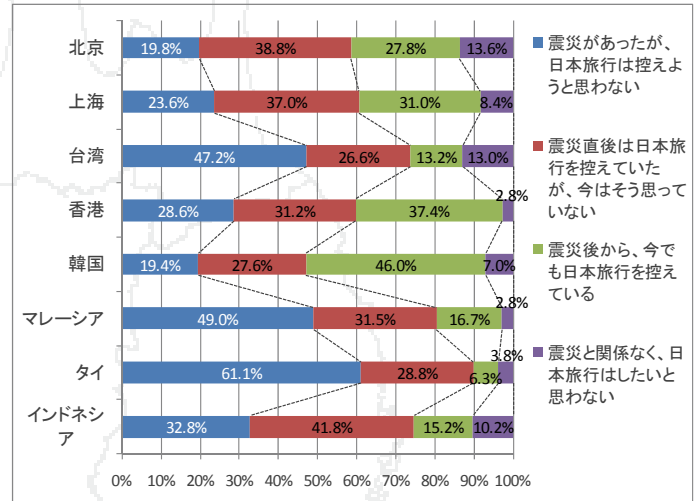
問3. 日本で起きた震災に関連して、あなたの日本旅行に対する考えは変化しましたか。最もあなたの意見に近いものをお選びください。

- 「震災があったが、日本旅行を控えようと思わない」及び「震災直後は控えたが、今はそう思わない」が全体の7割を占め、「日本旅行を控えている」及び「日本旅行はしたいと思わない」は3割にとどまった。ただし、訪日経験別でみても回答の割合にほぼ差がない(訪日リピーターでも日本旅行を控えている人がいる)結果となった。
- 地域別ではタイ、マレーシア、インドネシア、台湾が特に積極的。当調査ではタイ、マレーシア、インドネシアの訪日経験者は少ないが、今後有望な地域として期待できそうである。台湾は訪日リピーターも多く日本への理解も進んでいる地域といえる。

(a) 訪日経験別



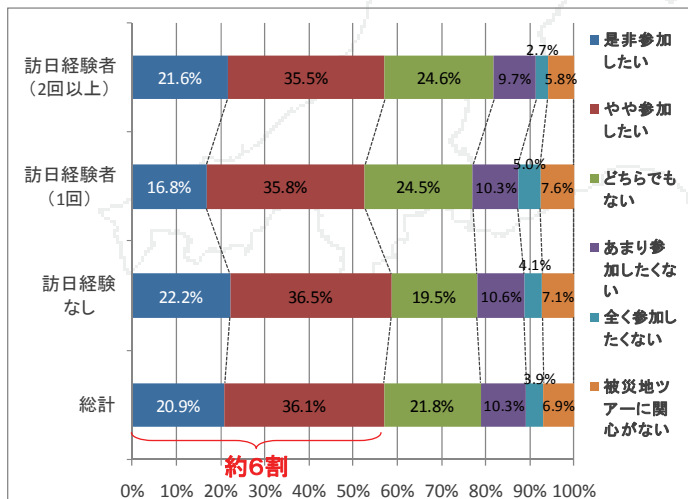
(b) 地域別



問4. 日本旅行で、震災後の被災地視察コースが整備され、自然災害の実態と被害の状況を学ぶ、又はボランティアをするといった行程のツアーが企画された場合、あなたは参加したいと思いますか。(このツアーは、被災地の自治体の了承を得ているものです。被災地は、津波被災地であり、原発災害の被災地ではありません。)

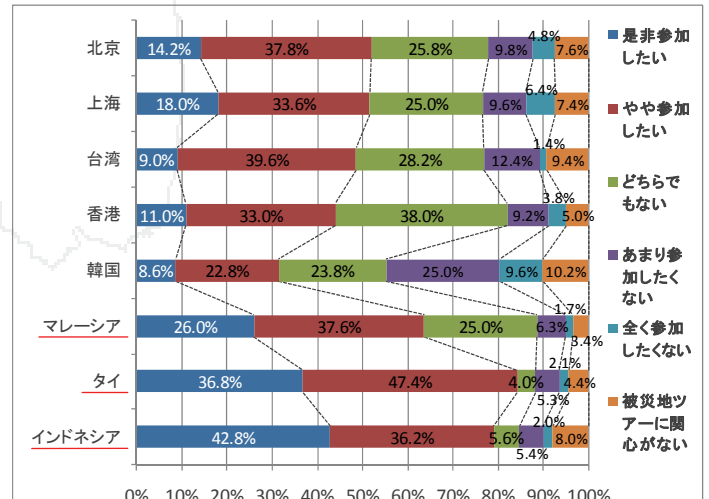
- 当行東北支店レポート「東北観光の現状と外国人観光客誘致のあり方」(2012年11月)では、外国人観光客に対する被災地ツーリズムの有望性も論じたが、本問に対する回答では、全体の約6割が参加したい(是非参加・やや参加したい)と回答し、特に2割からは「是非参加したい」との回答を得た。
- 地域別ではタイ、インドネシア、マレーシアが積極的であり、北京、上海の訪日リピーターも関心が高かった。さらに年齢別にみれば、34歳以下の若年層で関心が高めであった。また直近の訪日で東北を訪れた人に限れば7割が関心を示した。
- 被災地ツーリズムは外国人の関心も高く、外国人旅行者の受入れも考慮した取組みが求められる。

(a) 訪日経験別



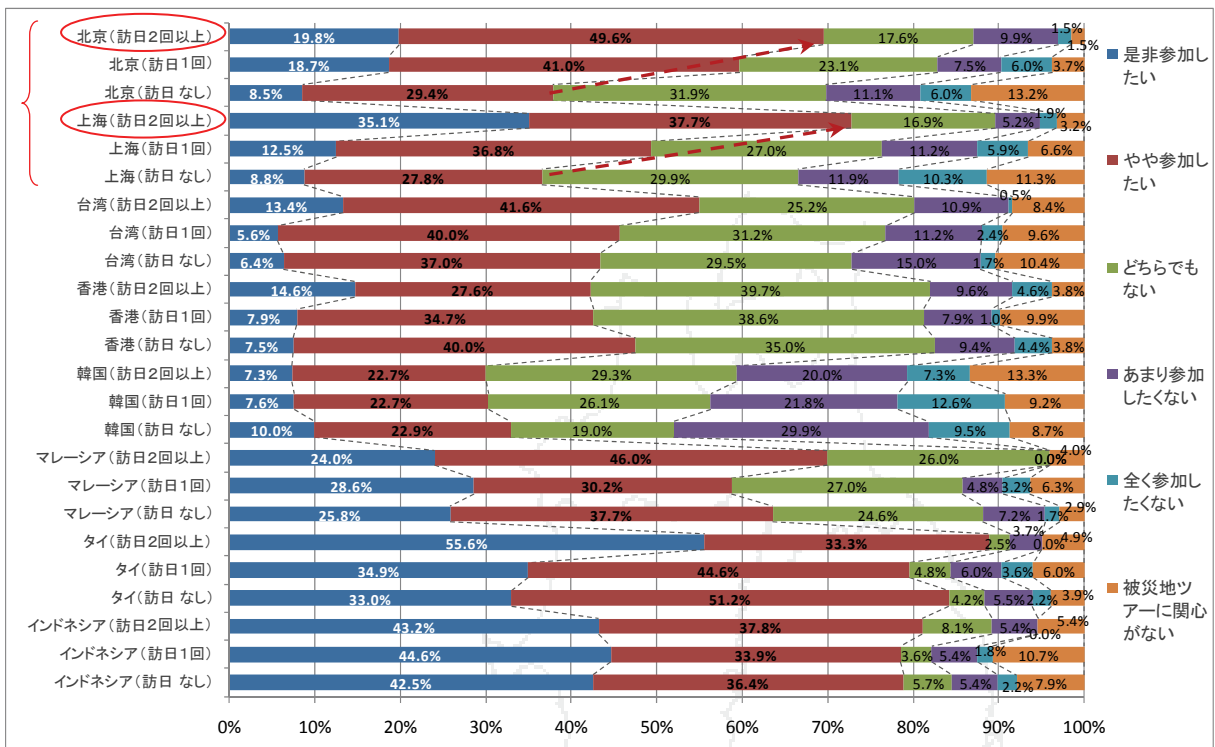
(b) 地域別

インドネシアは4割超が「是非参加したい」と回答



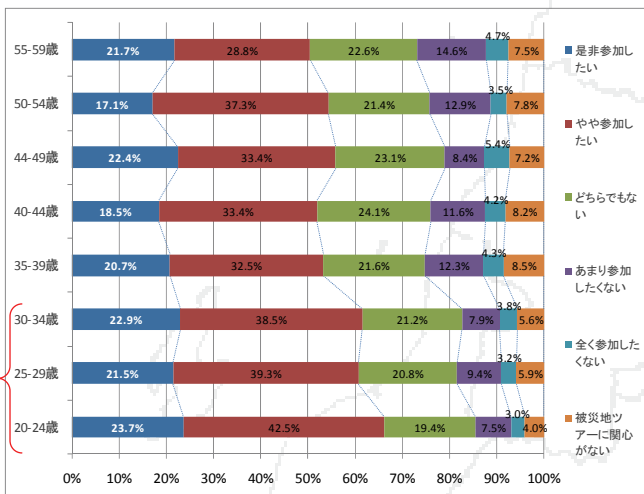
(c) 訪日経験・地域別

北京、上海は訪日経験によって急激に関心が高まる傾向がみられた

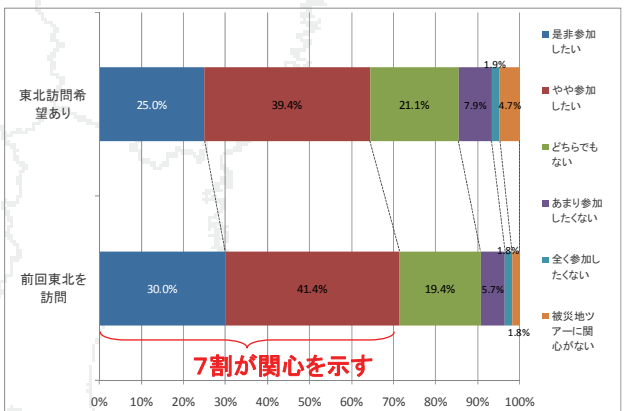


(d) 年齢別

比較的若年層の関心が高い



(e) 前回東北訪問者*1及び今後東北訪問希望者*2



*1 訪日経験者のうち、直近の訪日の際の訪問地として「青森」・「仙台」・「松島」・「東北」のうち1つ以上選択した方(回答 227 名)

*2 「あなたがご存じの観光地の中で、実際に行ってみたい観光地」として「青森」・「仙台」・「松島」・「東北」のうち1つ以上選択した方(回答 620 名)